
平成30年度 言語文化サポーター研修〈第2回〉 「通訳実践研修」を開催しました

日本に在住する外国人は年々急増しており、さらに2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて訪日外国人もますます増加することが見込まれます。それに伴い、幅広い分野・言語においての通訳者の存在が必要不可欠となっており、その育成は急務となっています。

多言語・多文化教育研究センターでは、言語文化サポーター登録者及び、通訳に関心を持つ本学学生を対象に通訳技法を学ぶ機会を提供するため、「通訳実践研修」を開催しました。

研修には、言語文化サポーター10名、学部・留学生4名の計14名が参加しました。中国語・英語・タイ語・スペイン語・インドネシア語の各言語に分かれ、通訳実践の基礎的な練習やグループワークでの演習を行いました。

平成30年度 言語文化サポーター研修 <第2回>

○日時：2019年2月9日（土） 12:30-15:30

○場所：東京外国語大学 研究講義棟204教室（東京都府中市朝日町3-11-1）

○講師：田中 健一 氏（通訳者・言語文化サポーター）

○内容：「通訳実践研修」

- ・ウォーミングアップ
- ・クイックレスポンス
- ・リテンション・リプロダクション
- ・ノートテイキング
- ・リテンション・リプロダクション+ノートテイキング
- ・ロールプレイ 逐次通訳演習



参加者の感想：

- ・通訳の基礎知識から自分での練習方法まで、とても丁寧に教えていただきました。今後の通訳の勉強に生かしたいです。
- ・通訳の技法を講義、実戦形式で学ぶことができ、大変役立つレクチャーでした。本日学んだことを早速実践にいかしてゆきたいと思います。
- ・ノートテイキングの方法など、通訳の実地の基礎が分かりました。
- ・とても実践的な内容で実技が多く、大変参考になりました。先生の事例なども交えてご説明いただき、とても分かりやすかったです。
- ・外国人材拡大法案など時事問題に即応した内容で、とても有意義でした。テクニック（quick response, retention, reproductionなど）の演習もとても面白かったです。
- ・ロールプレイが面白かったです。実際に通訳しているように、自分が何について苦手なのかわかりました。